



FORM DESIGNER
ユーザーマニュアル

本マニュアルの情報は法的拘束力がなく、事前の予告なしに修正される可能性があります。

本マニュアルに記載されるソフトウェアの提供は、ユーザー?ライセンスにより異なります。

このソフトウェアは、このライセンスに従って行われる場合を除き、いかなる媒体においても、使用、複写または複製することはできません。

本マニュアルのいかなる部分も、**TEKLYNX Corporation SAS** から書面での許可を受けずに、購入者の個人的な使用以外の目的で、いかなる手段においても、複写、複製または送信することはできません。

©2024 **TEKLYNX Corporation SAS** ,
All rights reserved.

目次

概要	1-1
概要	1-1
レイアウト	1-1
メニューバー	1-2
ツールバー	1-2
ツールボックス	1-2
プロパティグリッド	1-4
メインウィンドウ	1-4
ステータスバー	1-5
基本	1-5
アクションとは?	1-5
フォームの作成	2-9
デザイン	2-9
例 1	2-9
DBForm.xmf	2-10
コントロールの配置	2-10
コントロールプロパティの設定 (データなし)	2-10
コントロールプロパティの設定 (データあり)	2-11
データベースグリッドのプロパティ設定	2-12
フォームのプロパティ設定	2-12
テキストボックスのプロパティ設定	2-13
コンボボックスのプロパティ設定	2-14
ボタンのプロパティ設定	2-14
例 2	2-18
Generic.xmf	2-18
コントロールの配置	2-18
コントロールプロパティの設定 (データなし)	2-19
コントロールプロパティの設定 (データあり)	2-21
ボタンのプロパティ設定	2-21
フォームのプロパティ設定	2-23
リストボックスのプロパティ設定	2-24
コンボボックスのプロパティ設定	2-25

テキストボックスのプロパティ設定	2-26
データグリッドのプロパティ設定	2-26

概要

概要

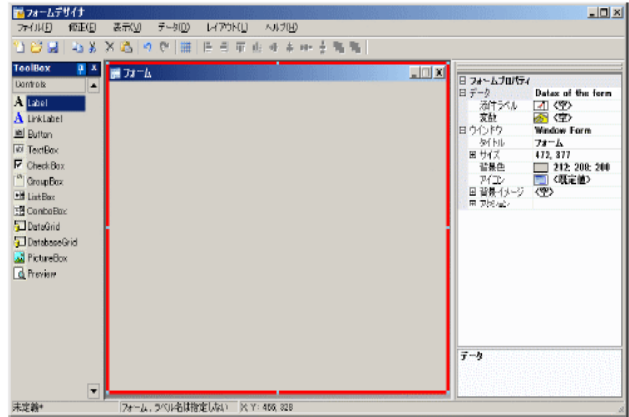
概要

フォームデザイナーは、データエントリーとラベル印刷アプリケーションのフロントエンドを素早く設計するビジュアルデザインツールです。フォームデザイナーは下記の特長があります。

- ラベルとプリンタータイプ of の選択
- 印刷プレビュー
- ページとプリンター設定
- データベース接続
- マルチスクリーン / フォームアプリケーション
- 事前定義値とデータコントロール

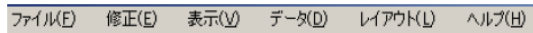
レイアウト

フォームデザイナーは、使いやすく、操作習得のための時間を大幅に減少させます。フォームデザイナーはメニューバー、ツールバー、ツールボックス、プロパティグリッド、メインウィンドウおよびステータスバーから構成されます。



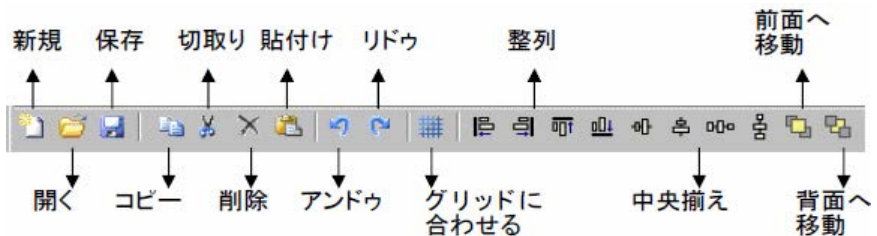
メニューバー

メニューバーはファイル、修正、表示、データ、レイアウト、およびヘルプの6つの項目から構成されています。項目をクリックするといろいろな機能を実行するための新しい項目のリストが展開されます。素早くメニュー項目にアクセスするには、メニュー項目に表示されているアンダーラインの文字と ALT キーを押下します。例えばファイルメニューの場合は、ALT+F キーを押下します。



ツールバー

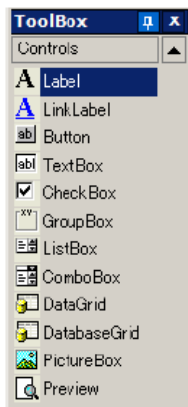
通常、ツールバーはメニューバーの下に位置します。よく使用される機能をまとめたアイコンから構成されています。これらのアイコンをクリックしてフォームデザイナーの機能に素早くアクセスすることができます。



ツールボックス

ツールボックスは、フォームに追加することができるラベル、リンクラベル、ボタン、テキストボックス、チェックボックス、グループボックス、リストボックス、コンボボックス、データグリッド、データベースグリッド、ピクチャ

ャーボックス、プレビューの12のコントロールから構成されています。.



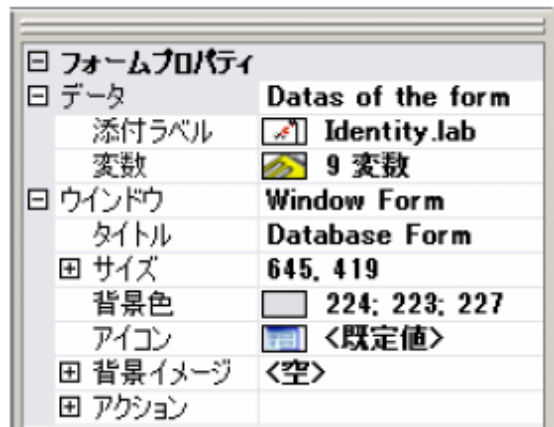
それぞれのコントロールにはそれぞれの用途があります。それらは固定または可変のデータにリンクすることができ、アクションと結びつけることができます。フォームにコントロールを挿入するには、コントロールをクリックし、フォーム上にドラッグ&ドロップします。

コントロール	説明
ラベル	入力フィールドの名前を示すために使用される非アクティブなテキスト
リンクラベル	ウェブページや他の特別な場所へのリンクとして使用されるテキスト
ボタン	機能 / アクションを実行するために使用されるコントロール
テキストボックス	データ入力フィールド
チェックボックス	機能の選択 / 非選択、有効 / 無効の切り替えを行う
グループボックス	コントロールのグループの周りに視覚的な境界を作成するための非アクティブなボックス
リストボックス	プロパティとして定義されているデータをリスト表示する

コントロール	説明
コンボボックス	プロパティとして定義されているデータをドロップダウンリスト表示する
データグリッド	変数名、値またはカスタマイズしたデータのような事前に定義されたデータをグリッド表示する
データベースグリッド	フィルタや検索フィールドのようないくつかの基本的な機能と共にデータベースを表示する
ピクチャーボックス	イメージをインポートすることができるボックス
プレビュー	フォームに接続されたラベルのプレビューを表示するボックス

プロパティグリッド

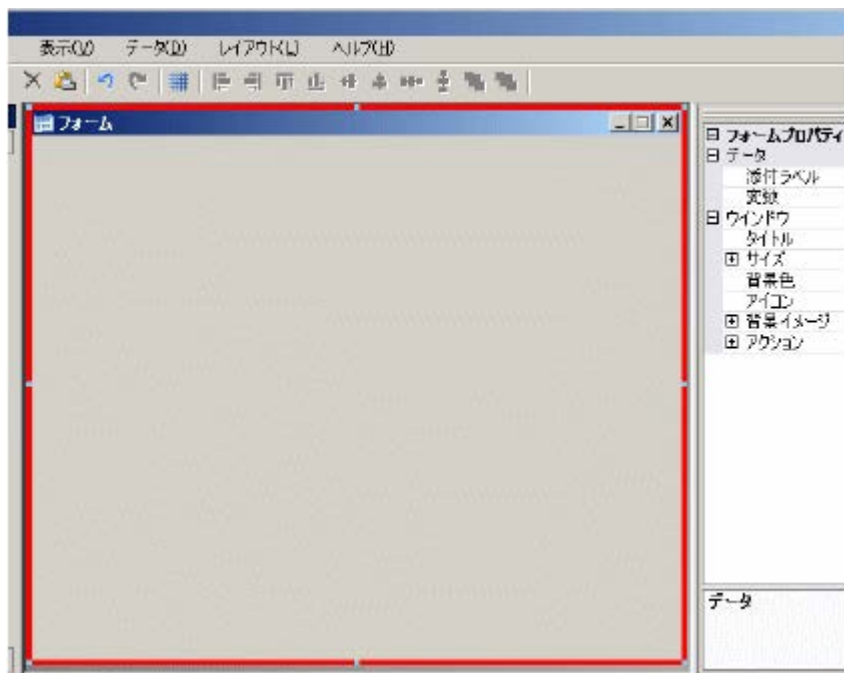
プロパティグリッドは、選択されたコントロールのすべてのプロパティをグリッド表示します。ここでは、コントロール名、色、大きさ、アクションのようなコントロールの属性を変更することができます。それは状況依存ですので、選択しているコントロールによってプロパティのリストは異なります。



メインウィンドウ

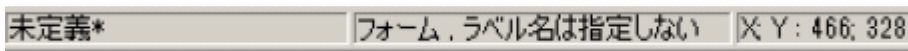
メインウィンドウは中央に表示されるワークエリアです。ここでコントロールを追加し、ラベル印刷のためのデータ入力フォームを作成します。フォームを作成すると、表示

>実行メニューによりフォームを実行し、最終結果をみる
ことができます。 .



ステータスバー

ステータスバーはポインターの X 座標、Y 座標、フォーム名、選択されているコントロールの基本情報を表示します。



基本

アクションとは?

アクションはボタンに割り当てられる機能であり、フォームをロード / アンロードします。フォームデザイナーには、作成における時間短縮とプログラミングの必要性を排除するために、予め定義された 12 のアクションが含まれています。この中で特定のパラメータが必要となることがあり

ますが、これらも同様に予め定義されています。

Action	Show the document property dialog box
	作成日付や場所のような選択されたドキュメントのプロパティダイアログボックスを表示します。

Action	Show the form dialog box
	フォーム変数へ値をセットするためのフォームダイアログボックスを表示します。

Action	Show the options dialog box
	表示言語やその他の設定を変更することができるオプションダイアログボックスを表示します。

Action	Show the printing dialog box
	印刷を実行する印刷ダイアログボックスを表示します。ここでラベルの印刷枚数をセットしたり、印刷ジョブのプレビューを見ることができます。

Action	Show the printer selection dialog box
	印刷可能なプリンターリストを表示します。

Action	Show the printer settings dialog box
	プリンターの設定を変更することができるダイアログボックスを表示します。

Action	Show the page setup dialog box
	ラベルサイズ、ページサイズ、マージンを設定する書式設定ダイアログボックスを表示します。

Action	Print
	印刷を実行します。
パラメータ	<i>Label Quantity</i>
	印刷するラベル枚数をプリンターに送ります。ドキュメントにカウンターが含まれる場合、カウンターはラベル枚数に従って増減されます。
	<i>Label Copy</i>
	同一ラベルのコピー枚数をプリンターに送ります。
	<i>Inter Cut</i>
	それぞれのカット前に印刷するラベル枚数をプリンターに送ります。
	<i>Page Copy</i>
	ページコピー枚数をプリンターに送ります。

Action	Select printer
	ドキュメントに関連付けされているかもしれないどのプリンターよりも優先して印刷に使用するデフォルトプリンターを選択します。
パラメータ	Printer
	ボタンがクリックされた時にデフォルトプリンターとして使用されるプリンターをセットします。フォームプロパティにプリンター選択変数が定義され、使用されている場合は、リストから選択したプリンターを使用します。

Action	Show Label Designer
	ラベルを編集するためにラベルデザインアプリケーションを起動します。

パラメータ	Show
	起動し、ラベルデザインアプリケーションを表示します。

Action	Load a new form.
	新しいフォームを開きます。
パラメータ	File name
	アクションをリンクさせる XMF ファイル名
	New Window
	TRUE にセットされた場合、選択されたファイルを新しいウィンドウで開きます。

Action	Execute a VB Script
	フォームデザイナーの能力を超えた動作を実行することができるユーザー定義の VB スクリプトを実行します。ユーザーにとって非常に柔軟な機能です。
パラメータ	File name
	アクションにリンクさせる VBS ファイル名
	Synchronous
	VB スクリプトをフォームデザイナーに同期させます。

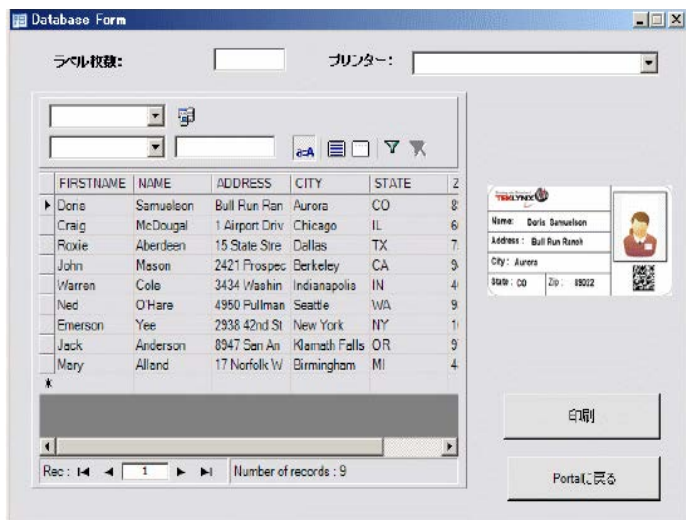
概要

フォームの作成

デザイン

フォームデザイナーを使用すればフォームの作成は簡単です。すべてのコントロールはドラッグ&ドロップによりフォームへ追加することができ、それからプロパティグリッドにより色、テキスト、アクション等を設定します。この章では、DBF.xmf フォームと Generic.xmf フォームの2つの例を用いてフォームの作成方法を解説します。

例 1



DBForm. xmf

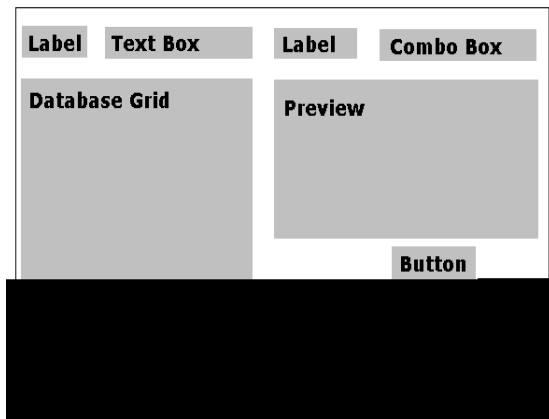
このシンプルなフォームは、データベース内のデータを素早く表示、変更または追加することができるデータベースグリッドを含んでいます。

• コントロールの配置

この例では、以下のコントロールをドラッグ&ドロップする必要があります。

- ラベル 2 箇所
- テキストボックス 1 箇所
- コンボボックス 1 箇所
- データベースグリッド 1 箇所
- プレビュー 1 箇所
- ボタン 2 箇所

次の図のように配置します。.



• コントロールプロパティの設定（データなし）

プロパティグリッドがスクリーン右側に表示されますので、コントロールのプロパティの設定は簡単です。プロパティグリッドが表示されない場合は、表示>プロパティグリッド メニューを選択します。

フォーム上でコントロールを選択すると、関連したプロパティのリストがプロパティグリッドに表示されます。

1 次のようにラベルプロパティを設定します：

- 名前： lblLabelNumber
- 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
- 内容 > 値： ラベル枚数：

- フォント名: MS P ゴシック
- フォントサイズ: 9
- フォント強調: True

- 名前: lblPrinter
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: プリンター:
- フォント名: MS P ゴシック
- フォントサイズ: 9
- フォント強調: False

2 次のようにプレビュープロパティを設定します:

- 名前: prvPreview
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: Preview

3 次のようにデータベースグリッドプロパティを設定します:

- 名前: dbgDatabase
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: DataBaseGrid

4 次のようにテキストボックスプロパティを設定します:

- 名前: txbQty

メモ

インプットマスク

インプットマスクはフォームへの手動入力の制御方法です。キーボードで入力されたそれぞれの文字は、フォーマット文字列内の 1 文字に該当すべきです。

フォーマット文字	入力文字
#	数値 (0-9)
@	英字 (a-z, A-Z)
!	句読点
*	印刷可能な文字
\	‘\’ に続く文字

5 次のようにコンボボックスプロパティを設定します:

- 名前: **cbxPrinter**

6 次のようにボタンプロパティを設定します:

- 名前: **btnPrint**
- 内容 > タイプ: **固定オブジェクト**
- 内容 > 値: **印刷**

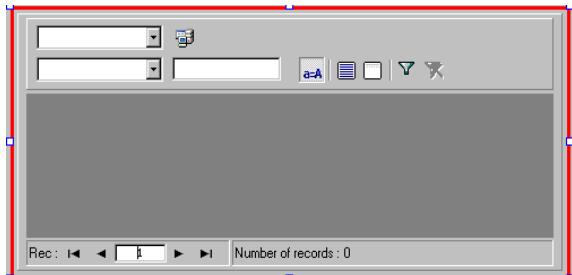
2 番目のボタンは

- 名前: **btnPortal**
- 内容 > タイプ: **固定オブジェクト**
- 内容 > 値: **Portal に戻る**

• コントロールプロパティの設定 (データあり)

いくつかのコントロールはさらに多くのテキストプロパティ設定を要求します。ボタンはアクションを、グリッドはデータを、そしてボックスは変数を必要とします。次の数ステップが…

データベースグリッドのプロパティ設定



データベースグリッドは事前に選択されたデータベースを表示します。選択された行がプレビューボックスで関連付けられたラベルを表示します。データベースグリッドでは追加、削除、フィルタおよび情報の検索を行うことができます。

- データベース > 接続: ドロップダウンメニューから **Batcher** を選択
- データベース > テーブル: ドロップダウンメニューから **PrintJob** を選択

メモ

データベース > 接続では、リンクされたデータベースのリストから選択、または新しいデータベースを追

加することができます。後者は ‘データベース接続の追加’ ウィザードを起動します。

フォームのプロパティ設定

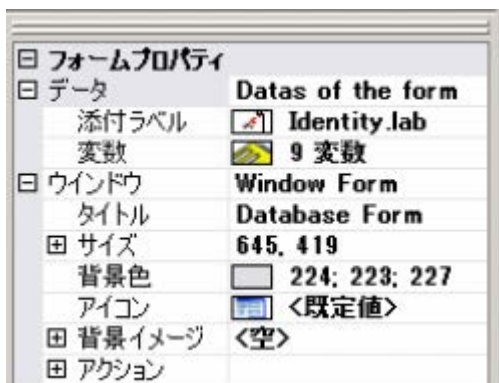
フォームはツールボックスには表示されませんが、他と同様に設定可能なコントロールです。

- 添付ラベル: **Identity.lab**
- 変数: 7個の変数が自動的にこのフィールドに追加されます。7個の変数はラベルに付加されているデータベースから受け取られるラベル変数です。これに印刷に使用するデフォルトプリンターと実際に印刷する枚数を設定するための2個のフォーム変数を追加します。

これらの2個の新しい変数を追加します。

- 1 変数フィールドから下矢印をクリックします。
- 2 フォーム変数と題されたセクション内で追加をクリックします。
- 3 Printerを入力し、OKをクリックします。
- 4 同様にステップ2と3を繰り返してQTYを作成します。

フォームプロパティグリッドに戻ると、変数が9個になっていることを確認できます。 .



テキストボックスのプロパティ設定

テキストボックスは、何枚のラベルコピーを印刷するのかをプリンターに告げるために使用されます。ユーザーによって入力された数量はコピー数として定義されます。もし、ラベル上にカウンターが存在するならば、カウンターはそれぞれのラベルコピーで増減します。

- 内容 > タイプ: 可変オブジェクト
- 内容 > 値: ドロップダウンリストから QTY を選択 (この変数はフォームプロパティで作成されました)



コンボボックスのプロパティ設定

コンボボックスは事前に定義されたリストからプリンターを選択するために使用されます。プロパティを設定するには:


- 内容 > タイプ: 可変オブジェクト
- 内容 > 値: ドロップダウンリストから Printer を選択 (この変数はフォームプロパティで作成されました)
- データ > タイプ: プリンター
- データ > 値 > プリンターの種類: THT

ボタンのプロパティ設定

ボタンは単に名前やフォントのような標準的なテキストプロパティを要求するだけではなく、アクションも必要とします。フォームデザイナーはボタンプロパティグリッドにおいてアクションの一般的なリストから選択することが可


能なアクションフィールドを含んでいます。これらのアクションは、利便性、複雑なプログラミングの必要性の排除、そしてエラーの可能性の低減を目的として予め定義、作成されています。

1 印刷ボタンをクリックします。(btnPrint)

2 アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

3 追加ボタンをクリックします。

4 説明欄の下矢印をクリックし、Select Printer を選択します。続いて1個のパラメータを定義します。

5 パラメータ欄の  タンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

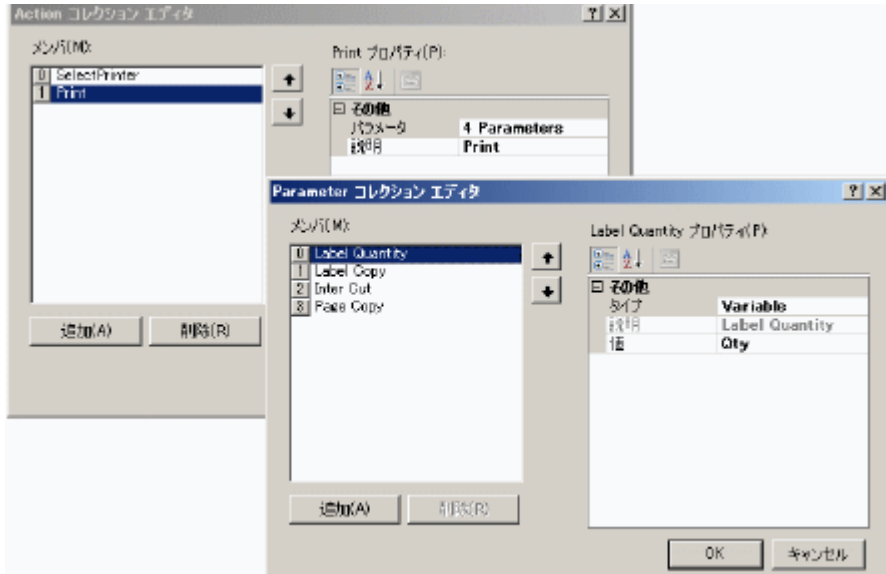
6 タイプに Variable を設定します。

7 値に Printer を設定します。(ドリップダウンリストから選択します。Printer はフォームプロパティで作成された変数です。)

8 元のアクション画面に戻り、追加ボタンをクリックします。

9 説明欄の下矢印をクリックし、Print を選択します。続いて4個のパラメータを定義します。


- Label Quantity: タイプに Variable、値に Qty を設定します。(ドリップダウンリストから選択します。Qty はフォームプロパティで作成された変数です。)
- Label Copy: デフォルト設定のままとします。
- Inter Cut: デフォルト設定のままとします。
- Page Copy: デフォルト設定のままとします。



10 OK ボタンをクリックします。

印刷ボタンは、ユーザーによって txtQty に定義されたラベル枚数を印刷するように設定されました。(カウンターが存在するなら) ラベルのカウンターはそれ相応に増加します。

1 Portal に戻るボタンをクリックします。(btnPortal)

2 アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

3 説明欄の下矢印をクリックし、Load a new form をドロップダウンリストから選択します。続いて 2 個のパラメータを定義します。

- **File Name:** タイプに Fixed、値に MainMenu.xml を設定します。
- **New Window:** タイプは Fixed、値は空欄にします。

Portal に戻るボタンは、プリンターの選択、設定の変更、プリンター管理、ページ設定変更および他のフォームのナビゲートを行う MainMenu.xml を開くように設定されまし

た。

例 2

ラベルを選択:

- Chemical Formula Lab
- Chemical Lab
- Chrono Lab
- Comely Lab
- DVD Label Lab
- Formula Lab
- Fruits Lab
- GHS Lab
- Identify Lab
- Last Field Lab
- Mailing Lab

データを入力してください

Variable	Value
First Name	Doris
City	Aurora
Zip	89022
Name	Samuelson
Code	1909
Address	Bull Run Ranch
State	CO

Setting the Standard
TEKLYNX

Name: Doris Samuelson

Address: Bull Run Ranch

City: Aurora

State: CO Zip: 89022

Printer: [] [設定]

ラベル枚数: [] [印刷]

[] [印刷に戻る]

Generic.xmlf

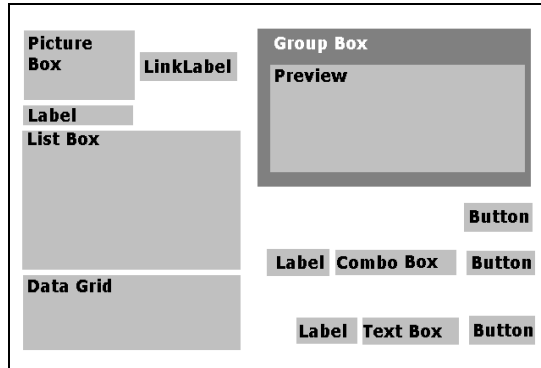
このフォームでは、フォームデザイナーのさらなる優れた機能を見ることができます。(リストからのラベル選択、データ変数の表示、ラベルのプレビュー、ラベルコピー枚数の選択、使用プリンターの選択)

• コントロールの配置

この例では、以下のコントロールをドラッグ&ドロップする必要があります。

- ラベル 3 箇所
- リンクラベル 1 箇所
- ピクチャーボックス 1 箇所
- ボタン 3 箇所
- テキストボックス 1 箇所
- リストボックス 1 箇所
- コンボボックス 1 箇所
- グループボックス 1 箇所
- プレビュー 1 箇所
- データグリッド 1 箇所

次の図のように配置します。



• **コントロールプロパティの設定**（データなし）

フォーム上でコントロールを選択すると、関連したプロパティのリストがプロパティグリッドに表示されます。

1 次のようにラベルプロパティを設定します：

- 名前： **lblSelect**
- 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
- 内容 > 値： ラベルを選択：
- フォント名： MS Pゴシック
- フォントサイズ： **9**
- フォント強調： **True**

- 名前： **lblPrinter**
- 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
- 内容 > 値： プリンター：
- フォント名： MS Pゴシック
- フォントサイズ： **9**
- フォント強調： **True**

- 名前： **lblQty**
- 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
- 内容 > 値： ラベル枚数：
- フォント名： MS Pゴシック
- フォントサイズ： **9**
- フォント強調： **True**

2 次のようにピクチャーボックスプロパティを設定します：

- 名前: **picRandD**
- イメージファイル名: **RandD.jpg** (下矢印をクリックしてダイアログボックスを表示し、ソフトウェアフォルダ内のアイコンフォルダからファイルを選択します)
- 位置合わせ: **TopCenter**
- 枠サイズに変形: **OriginSize**

3 次のようにリンクラベルプロパティを設定します:

- 名前: **llblyourwebsite**
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: **yourwebsite.com**
- フォント名: **MS Pゴシック**
- フォントサイズ: **9**
- フォント強調: **False**
- URL ナビゲート: **http://www.yourwebsite.com**

4 次のようにグループボックスプロパティを設定します:

- 名前: **gbxPreview**
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: **Preview**

5 次のようにボタンプロパティを設定します:

- 名前: **btnSetting**
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: **Settings**
- イメージファイル名: **pagesetup.bmp**

- 名前: **btnPrint**
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: **印刷**

- 名前: **btnPortal**
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: **Back to Portal**

6 次のようにプレビュープロパティを設定します:

- 名前: **prvLabel**

7 次のようにリストボックスプロパティを設定します:

- 名前: `lbxLabels`

8 次のようにテキストボックスプロパティを設定します:

- 名前: `tbxQty`

9 次のようにコンボボックスプロパティを設定します:

- 名前: `cbxPrinters`


10 次のようにデータグリッドプロパティを設定します:

- 名前: `dgdVariables`

• コントロールプロパティの設定 (データあり)

ボタンのプロパティ設定

1 設定ボタンをクリックします。(btnSettings)

2 アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。


追加ボタンをクリックします。

3 説明欄の下矢印をクリックし、Show the printer selection dialog box をドロップダウンリストから選択します。

4 OK ボタンをクリックします。


設定ボタンは、印刷に使用するプリンターを選択するダイアログボックスを開くように設定されました。(コンボボックスのプロパティ設定を参照)

1 印刷ボタンをクリックします。(btnPrint)

2 アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

追加ボタンをクリックします。

3 説明欄の下矢印をクリックし、Print をドロップダウンリストから選択します。続いて 4 個のパラメータを定義します。


4 パラメータ欄の  ボタンをクリックします。

- **Label Quantity:** デフォルト設定のままとします。
- **Label Copy:** デフォルト設定のままとします。
- **Inter Cut:** デフォルト設定のままとします。
- **Page Copy:** デフォルト設定のままとします。

5 OK ボタンをクリックします。

印刷ボタンは、選択されたラベルを印刷するように設定されました。

1 Portal に戻るボタンをクリックします。(btnPortal)

2 アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。.

3 説明欄の下矢印をクリックし、Load a new form をドロップダウンリストから選択します。続いて 2 個のパラメータを定義します。

- **File Name:** タイプに Fixed、値に MainMenu.xmf を設定します。
- **New Window:** タイプに Fixed、値に True を設定します。

4 OK ボタンをクリックします。

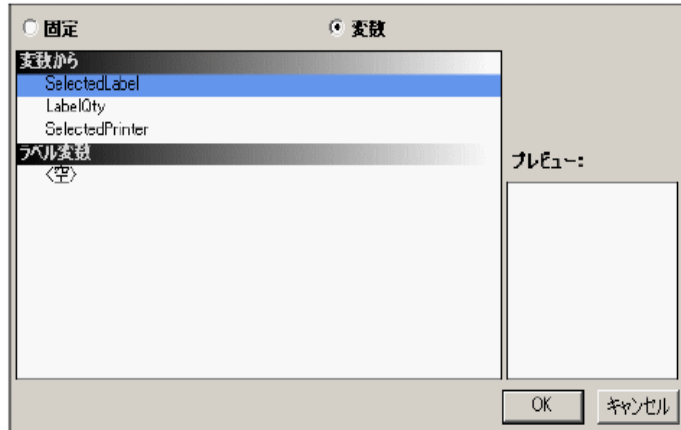
Portal に戻るボタンは、プリンターの選択、設定の変更、プリンター管理、ページ設定変更および他のフォームのナビゲートを行う MainMenu.xmf を開くように設定されました。

フォームのプロパティ設定

この例を実現するためには、ラベルのリストを表示するリストボックスが必要であることに気付くと思います。固定の添付ラベルがありませんのでラベル選択のための変数が必要となります。

このフォームではさらに 2 つの変数が必要です。ドロップダウンコンボボックスから選択されるプリンター選択変数と印刷時のラベルコピー枚数としてテキストボックスで定

義されるラベル枚数変数です。



フォーム変数を作成するには：

- 1 フォームプロパティグリッドの変数欄の下矢印をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- 2 フォーム変数下の追加ボタンをクリックします。
- 3 名前に Label Selection と入力します。
- 4 2、3 を繰り返して Printer Selection と Label Quantity 変数を作成します。

これらの変数はリストボックス、テキストボックス、コンボボックスを定義する際に必要となります。前述したとおり、固定の添付されているラベルがありませんが、ラベルが添付される必要があります。そうするために

- 1 フォームプロパティグリッドの添付ラベル欄の下矢印をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

- 2 特定のラベルを添付する必要はないので変数を選択します。

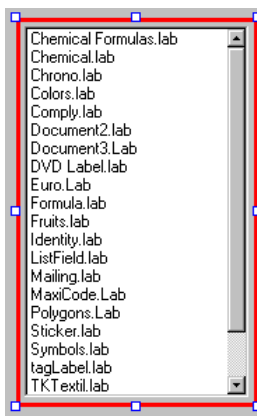
先ほど設定したフォーム変数のリストを表示するダイアログボックスに変わります。

3 Label Selection 変数を選択し、OK ボタンをクリックします。

リストボックスのプロパティ設定

リストボックスは印刷可能なすべての .lab ラベルを表示するために使用されます。

- 1 プロパティグリッドで、内容 > タイプをクリックし、変数オブジェクトとして定義します。
- 2 内容 > 値をクリックし、Label Selection として定義します。
- 3 データ > タイプをクリックし、ディレクトリを選択します。リストボックスの情報は特定のディレクトリから取得されます。
- 4 データ > 値 > Folder の下矢印をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- 5 固定を選択し、ソフトウェアディレクトリでラベルフォルダーを探します。
- 6 OK ボタンをクリックします。
- 7 データ > 値 > フィルタでラベルフォルダーに存在するすべてのラベルを選択するために *.lab と入力します。

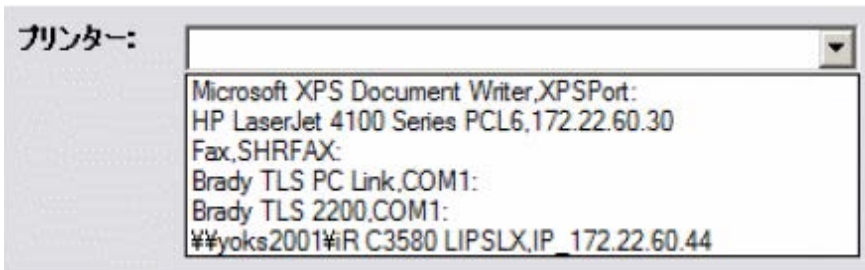


コンボボックスのプロパティ設定

コンボボックスは事前に定義されたリストからプリンターを選択するために使用されます。

- 1 内容 > タイプ をクリックし、変数オブジェクトとして定義します。
- 2 内容 > 値 をクリックし Printer Selection として定義します。
- 3 データ > タイプ をクリックしプリンターを選択します。
- 4 データ > 値 > プリンターの種類 をクリックし、Windows を選択します。

これはワークステーションあるいはネットワークの上に配置された Windows プリンターのリストを表示します。 .



テキストボックスのプロパティ設定

このテキストボックスは、何枚のラベルコピーを印刷するかをプリンターに通知するために使用されます。ユーザーによってテキストボックスに入力された数値はコピー枚数を意味します。もしカウンターがラベルの上に存在するならば、カウンターはそれぞれのラベルコピーで増加します。

- 1 内容 > タイプ をクリックし、変数オブジェクト として設定します。
- 2 内容 > 値 をクリックし、Label Quantity を選択します。

データグリッドのプロパティ設定

データグリッドはその変数名とともに選択されたラベルからデータを表示します。

- 1 内容 > タイプ をクリックし、固定オブジェクトとして設定します。
- 2 データ をクリックし、Table として設定します。
- 3 データ > タイプ をクリックし、ラベル変数として設定します。
- 4 データ > テーブル > タイトル をクリックし、データを入力してくださいと入力します。

データを入力してください		
	Variable	Value
▶	FirstName	Doris
	City	Aurora
	Zip	89022
	Name	Samuelson
	Code	1909
	Address	Bull Run Ranch
	State	CO

これらのすべてのステップを実行した後、表示 > 実行、または F4 キーを押下してフォームを実行し、すべてが適切に動作しているかをご確認ください。



France
+33 (0) 562 601 080

Germany
+49 (0) 2103 2526 0

Singapore
+65 6908 0960

United States
+1 (414) 837 4800

Copyright 2024 TEKLYNX Corporation SAS. All rights reserved. LABEL MATRIX, LABELVIEW, CODESOFT, LABEL ARCHIVE, SENTINEL, PRINT MODULE, BACKTRACK, TEKLYNX CENTRAL, TEKLYNX, and Barcode Better are trademarks or registered trademarks of TEKLYNX Corporation SAS or its affiliated companies. All other brands and product names are trademarks and/or copyrights of their respective owners

www.teklynx.com